



1年の始まり、畏敬の念を持って富士山を仰ぎ見ることは

時代が変遷しても変わることはありません。

今年の願掛けは「穏やかな年でありますように」。

月次レポートも構成が新しくなりました。

～CONTENTS～

- P1 新年のご挨拶と今年の展望
- P2 運用状況のご報告等
- P3-5 組み入れファンドの運用状況
- P6 組み入れファンドに訊く (NC ヨーロッパファンド編)
- P7 ありがとう投信からのお知らせ

税理士・公認会計士が立ち上げた資産運用会社



# ありがとうファンド

追加型投信／内外／株式／ファンド・オブ・ファンズ

基準日  
2011年  
12月30日

ありがとう投信

Arigato Asset Management Inc.

## 新年あけましておめでとうございます

文字通り激しく動いた激動の2011年が過ぎ、おかげさまで新たな年を新たな気持ちで迎えることができました。今年は良い年になりそうですね…などというよりも、皆様にとって良い年になるように頑張っまいますので、本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

< 昨年のテーマは「日本を元気にする」でしたが >

昨年初、私たちは「国民の一人ひとりが元気にならなければ日本という国は元気にならない」という問題意識から、メインテーマを『再考 ニッポン力』として様々な角度から日本を見直して「日本を元気にする！」を目指して始動しました。大震災などがあって大変な年になってしまいましたが、それでも年間20回以上の各種セミナーを北海道から九州まで様々な都市で開催し、一年間通して元気を発信し続けるように努めました。

ところが、ホルダーズミーティングをはじめ各地のセミナーにお越しくださってお話しさせていただいたり、あたたかいお手紙をいただいたり、あるいは相場急落局面でも売らずに買い増しをしてくださったり等など、逆に私たちが元気を一杯いただいたような、結果としてそんな一年になりました。本末転倒になってしまったようで大変恐縮ですが、みなさま本当にどうもありがとうございました。

< 今年の私のテーマは… >

上野広小路のオフィスまでおいでいただいたことのある方はご存知と思いますが、弊社では毎年恒例で『今年の目標』を全員が色紙に書いて、誰もが見えるところ（入口を入ってすぐの場所）に一年間貼り出します。今年の私の色紙には「ワクワクする会社に」と書きました。

『ワクワクする会社』という意味には、もちろん、お客様にワクワクしていただきたいという思いが強くなりますし、社員にも思い切りワクワクして欲しいとも思っています。けれども、それよりも何よりも自分自身のワクワクが止まらないような会社、そんな風にしていきたいというのが今年の私のテーマです。

私自身がいつも心からワクワクして、そのワクワクがお客様に、ひいては世の中に、どんどんドンドン伝播していくようなイメージで、元気を発信し続ける一年を今年も目指してまいります。

< 2012年は… >

『2012年は、数多あるファンドが真にお客様のためになる商品であるかどうかで峻別される、そういう動きが本格化する年になると考えています。本来、お客様のニーズは多様であって当然なので、私たちはその中でも長期投資を望むお客様に特化し、そうした方が長く安心して投資し続けていただけるよう、商品性を一層磨き上げてまいります。』

これは「ニッキン投信情報」誌に寄せた年頭の業界展望ですが、ここに書きましたように、今年は本当に大きな、そして大切な動きの出る年になるだろうと思います。その中で、お客様には「ワクワク」と「安心」とを合わせて感じていただける年になりますよう、今年も社員一同精進してまいりますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ダイレクト・コール 運用に関するご質問等は  
0800-888-3900 / 03-5807-9710  
または [web@39asset.co.jp](mailto:web@39asset.co.jp) までメールでどうぞ。

CIO(最高投資責任者)  
岡 大



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 (社)投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

【12月の市況と運用状況等】

12月の市場は、引き続きヨーロッパの債務問題が影を落とす中、米国を中心に景気の底堅い指標の発表が続いたことなどから不安感と期待感が交錯し、年末ということもあって総じて売買が手控えられ、狭いレンジ内での値動きとなりました。

ありがとうファンドの運用におきましては、ご案内のとおり、新しくキャピタル社の US グロース&インカムファンドを、12月から組入れ開始しました。私たちは米国株につきましても日本株同様に買い時であると

考えており、キャピタル社の長期にわたる優れた実績等も考慮し、少し早めのピッチで組入れを進めています。

ヨーロッパを中心に荒れ模様含みの相場も想定して、やや厚めのキャッシュポジションの継続を意識してはいますが、これまでも申し上げてきたとおり、比較的期待できる日米を中心に、さらに少しずつ買い増しを進めていくことを考えています。

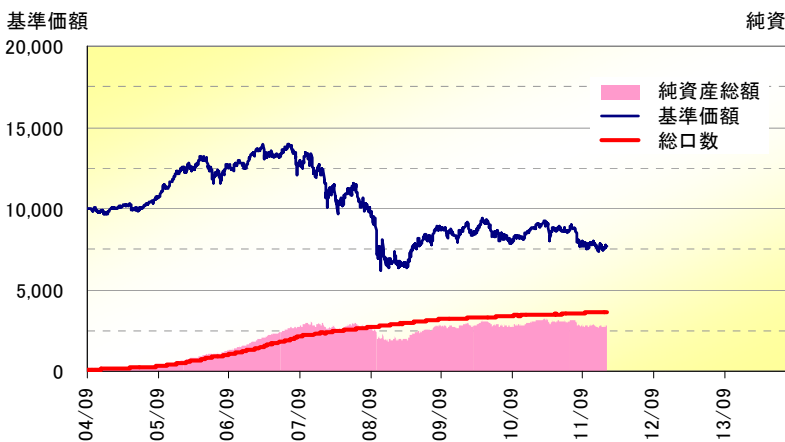
【今月のありがとうファンド】

＜運用成績等＞

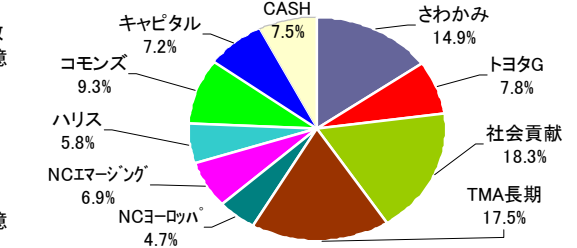
- ・ ありがとうファンドは▲0.7%。[11/11/30～11/12/30]
- ・ 対応する時期の TOPIX(日本)は▲1.0%、MSCI・WI(先進国)は+3.4%、MSCI・EM(新興国)は+0.6%、ドル円は0.3%の円高。[11/11/29～11/12/29]
- \* MSCI :モルガン・スタンレー・キャピタル・インターナショナル。世界で広く使われている株価指数を算出している会社。騰落率はドルベースの net 指数で計算。

基準価額	純資産総額	受益権総口数	口座数	積立割合
7,569円	69億09百万円	91億28百万口	5,706	43.8%

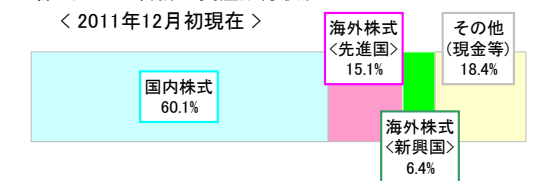
■基準価額・純資産総額の推移



■組入れファンドの比率



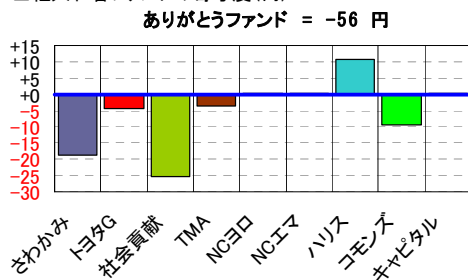
■各ファンドの合計の資産配分状況



1ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利(※)
▲0.7%	▲13.8%	▲14.2%	+11.3%	▲43.4%	▲24.3%	-3.73%

※「年率複利」とは、設定から現在まで運用を行った結果を、複利で換算した場合に何%でまわっていたかで表したものです。過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、また個々のお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。

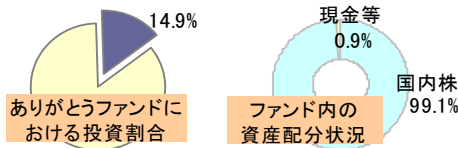
■組入れ各ファンドの寄与度(円)



左のグラフは、今月のありがとうファンドの基準価額の騰落について、組入れている各ファンドがおよそどれくらい影響したかを表したものです。ありがとうファンドへの組入れ比率が高いほど、プラスもマイナスも大きく影響するので、この大小がそのファンドの成績の良し悪しをそのまま表しているわけではありません。

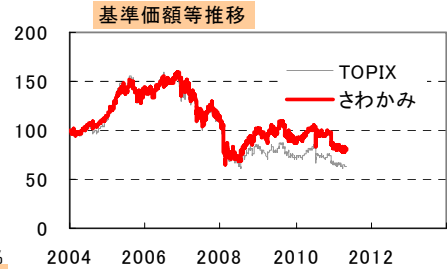
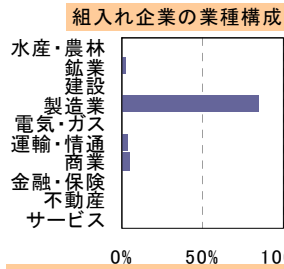
各ファンドの基準価額等推移のグラフは、組入れ開始時を100として指数化しており、対比しているインデックスは弊社が独自の判断で用いているものです。また、組入れ企業の業種構成のグラフは、各ファンドからのデータをもとに、およその配分傾向等をご覧いただくために弊社の責任で集計したものです。

日本の元祖長期投資 『さわかみファンド』



騰落率	1ヶ月	1年	3年	組入れ
	-0.2%	-17.7%	+3.7%	-19.3%

運用の基本スタンスは長期投資。日本の生活者のために円ベースでの長期的な成長を図る。日本に長期投資を根付かせることを目指し、「サラリーマン世帯の資産形成のお手伝い」を標榜するファンドです。その志は私たちと共通のものであり、一貫してぶれない長期投資の実践に期待。

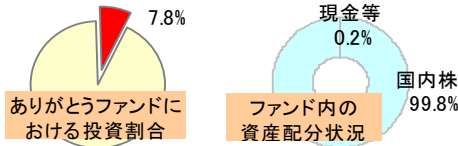


株式組入れ上位5銘柄

順位	銘柄	コード	業種	事業内容	組入比率
1	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	自動車販売シェア世界トップ級、ハイブリッド車に強み	3.68%
2	ブリヂストン	5108	ゴム製品	世界トップクラスのタイヤメーカー	3.52%
3	三菱重工業	7011	機械	日本を代表する総合重機会社、様々な分野で業界をリード	2.96%
4	花王	4452	化学	家庭用品国内トップ、原料からの一貫生産と物流・販売システムに強み	2.61%
5	国際石油開発帝石	1605	鉱業	2006年に国際石油開発と帝国石油が経営統合、資源開発の国内最大手	2.40%

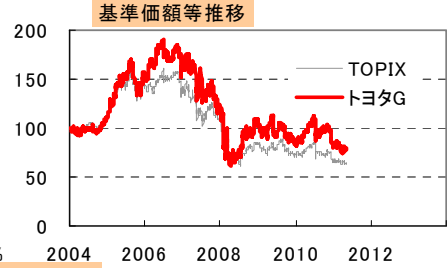
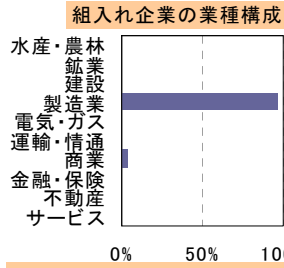
※上記比率は、純資産総額に対する比率です。

トヨタグループの安定と成長 『トヨタグループ株式ファンドF』



騰落率	1ヶ月	1年	3年	組入れ
	+1.2%	-17.9%	+14.4%	-20.5%

トヨタ自動車ほか、トヨタグループの株式に投資。現在はトヨタ自動車約50%を筆頭に、20社に集中投資。日本を代表する企業グループであるトヨタグループの安定感と成長力に対する投資。リスクは高めですが、ありがとうファンド内のポジション調整等でコントロールしていきます。

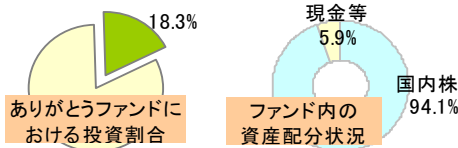


マザーファンド株式組入れ上位5銘柄 (業種構成は2011/11/30現在)

順位	銘柄	コード	業種	事業内容	組入比率
1	トヨタ自動車	7203	輸送用機器	自動車販売シェア世界トップ級、ハイブリッド車に強み	50.14%
2	デンソー	6902	輸送用機器	トヨタ自工から独立、世界でも有数の自動車用システムサプライヤー	16.29%
3	豊田自動織機	6201	輸送用機器	トヨタグループの源流、産業車両・カーエアコンコンプレッサー等で世界首位	5.92%
4	アイシン精機	7259	輸送用機器	自動車部品製造大手、自動変速機のシェアは世界トップクラス	5.60%
5	ダイハツ工業	7262	輸送用機器	軽自動車に特化しシェアアットクラス、アジアに積極展開	5.09%

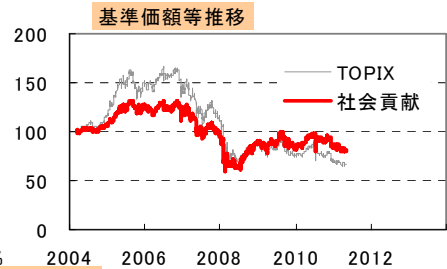
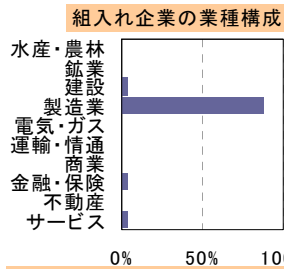
※個別銘柄の保有比率は、現物株式の組み入れ=100%とした各銘柄の比率です。

投資で社会に貢献 『社会貢献ファンド』



騰落率	1ヶ月	1年	3年	組入れ
	-0.4%	-13.2%	+19.4%	-18.8%

SRI(社会的責任投資)の先駆け。本業を通じた社会貢献度が高いことを条件に、社会の変動を生き抜ける経営能力と柔軟性をもつ日本企業を選別。厳選した個別企業について、大幅に割安になったときにのみ投資しているので、このファンドのパフォーマンス自体が「下げに強い」ものになっています。



マザーファンド株式組入れ上位5銘柄

順位	銘柄	コード	業種	事業内容	組入比率
1	高砂熱学工業	1969	建設業	空調工事国内トップ、多数の国産第1号を製販してきた技術力に定評	3.8%
2	スタンレー電気	6923	電気機器	自動車用照明機器大手、発光ダイオードなどの電子機器も収益源	3.6%
3	関西ペイント	4613	化学	総合塗料国内二強、収益柱の自動車用塗料は国内・アジアでトップクラス	3.6%
4	伊藤園	2593	食料品	茶葉製品・緑茶飲料の最大手、中国・豪州にも茶園を展開	3.5%
5	オイス工業	6282	機械	無給油式軸受け最大手、免震装置もトップクラス	3.4%

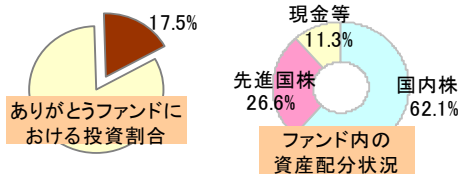
※構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 (社)投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

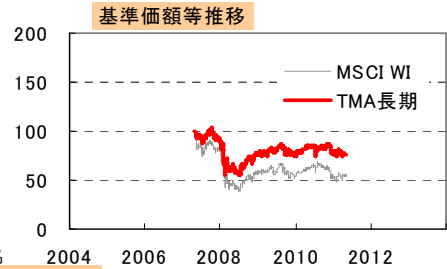
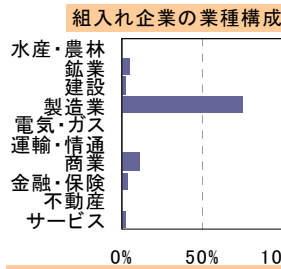
各ファンドの基準価額等推移のグラフは、組入れ開始時を100として指数化しており、対比しているインデックスは弊社が独自判断で用いているものです。また、組入れ企業の業種構成のグラフは、各ファンドからのデータをもとに、およその配分傾向等をご覧いただくために弊社の責任で集計したものです。

ダイナミックな資産配分 『TMA長期投資ファンド』



騰落率	1ヶ月	1年	3年	組入れ
	+0.6%	-8.3%	+21.9%	-23.2%

『エネルギー』、『食』、『わくわく生活』をテーマに、生活者の視点から長期的に必要とされるビジネスを展開する国内外の企業への長期投資。銘柄選択のための切り口がユニークで、日本株ではカバーしにくい資源関連や農業関連も海外株を用いて組込んでいます。



組入れ企業の業種構成

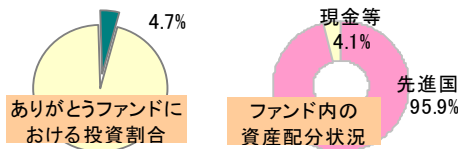
基準価額等推移

マザーファンド株式組入上位5銘柄

順位	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	キーエンス	日本	産業用エレクトロニクス	FA用各種センサーを中心に自動制御・計測機器などを製造、大阪本社	3.3%
2	UNITED TECHNOLOGIES CORP	アメリカ	資本財	傘下に各分野で世界最大級の事業を複数抱える多国籍グローバル	3.0%
3	三菱商事	日本	商社	三菱グループ中核の総合商社、エネルギー関連に強み	2.7%
4	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	世界最大のコンピュータソフトウェア会社、ビル・ゲイツらによって設立	2.7%
5	ミスミグループ本社	日本	商社	FA・金型部品の専門商社ミスミを核とする持株会社、高効率で収益力高い	2.7%

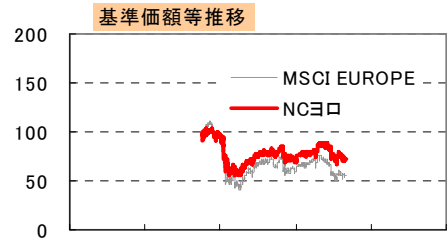
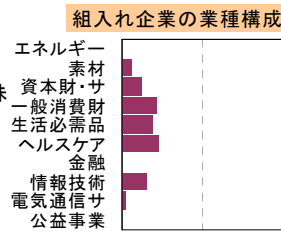
※ 比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

安定成長重視 『ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA』



騰落率	1ヶ月	1年	3年	組入れ
	-0.0%	-6.5%	+15.8%	-27.0%

主としてヨーロッパを対象とし、利益成長が安定的に持続することが期待できる企業を厳選して集中投資。徹底した個別リサーチにより利益成長の安定的な持続をカギに企業を選別しており、結果として世界的な優良企業への投資が中心となっていますが、そのためファンドの安定感も高いです。



組入れ企業の業種構成

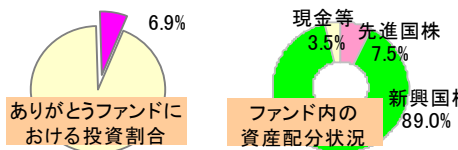
基準価額等推移

マザーファンド株式組入上位5銘柄

順位	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	ESSILOR INTL	フランス	ヘルスケア	世界最大手の総合眼鏡レンズメーカー、世界初の累進焦点レンズなど	5.8%
2	INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッション・アパレルのリーディングカンパニーの一つ	5.4%
3	SODEXO	フランス	一般消費財・サービス	フード、アパレル・メンテナンス等のアウトソーシングサービス専門企業、世界80ヶ国に展開	5.3%
4	SAP AG	ドイツ	情報技術	ヨーロッパ最大級・世界3位のソフトウェア会社、業務用に強み	5.1%
5	COLOPLAST -B	デンマーク	ヘルスケア	世界初の使い捨てストーマ(人工肛門)器具で成長したヘルスケア企業	5.0%

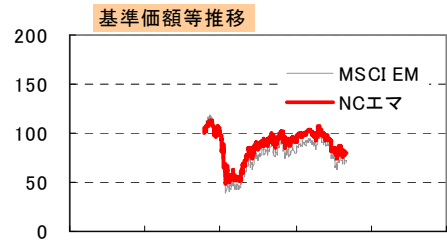
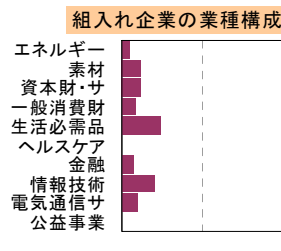
※ 比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

新興国の経済成長 『ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA』



騰落率	1ヶ月	1年	3年	組入れ
	-0.8%	-22.0%	+43.4%	-21.0%

徹底したボトムアップ・アプローチにより新興国の株式に集中投資。新興国投資において世界有数の運用実績を持つ会社による運用で、個別企業の質や価値を重視しているため、リスクの高い市場への投資でありながら、ファンドのリスク自体は比較的強く抑えられています。



組入れ企業の業種構成

基準価額等推移

マザーファンド株式組入上位5銘柄

順位	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-ADR	台湾	情報技術	世界最大の半導体専門ICファンドリーメーカー	5.8%
2	JBS SA	ブラジル	生活必需品	牛・豚・鶏肉の加工及びこれらの冷凍食品を製造、牛肉加工では世界最大	4.3%
3	CHINA LIFE INSURANCE	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.0%
4	GOLD FIELDS LTD	南アフリカ	素材	南アフリカ共和国に本社を置く世界最大級の産金企業	3.9%
5	TENCENT HOLDINGS	中国	情報技術	インターネット、携帯電話、通信関連のサービスを中国国内で提供	3.3%

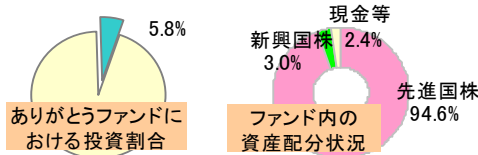
※ 比率は、マザーファンドにおける純資産総額に占める割合です。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 (社)投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

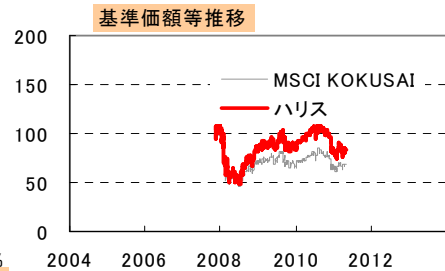
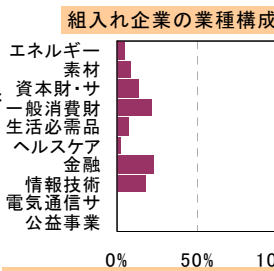
各ファンドの基準価額等推移のグラフは、組入れ開始時を100として指数化しており、対比しているインデックスは弊社が独自の判断で用いているものです。また、組入れ企業の業種構成のグラフは、各ファンドからのデータをもとに、およその配分傾向等をご覧いただくために弊社の責任で集計したものです。

世界中に割安投資 『ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド2007』



騰落率	1ヶ月	1年	3年	組入れ
	+3.0%	-14.9%	+43.7%	-16.3%

日本を除く世界中の株式を対象とし、割安時に、大型株中心に厳選投資。企業の本来的価値を見極めたうえで、それよりも数割割安な時のみを狙って株式を購入し、本来価値近辺にまで株価が上昇したらすぐに売却するという徹底したバリュース投資を実践、信頼性は高いです。

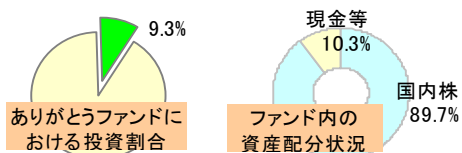


マザーファンド株式組入上位5銘柄 (資産配分状況、組入れ銘柄は2011/11/30現在)

順位	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	INTEL CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	世界最大手の半導体メーカー、直近まで20年連続で売上高1位	6.6%
2	ADECCO SA-REG	スイス	商業・専門サービス	世界70ヶ国に展開、人材派遣・請負など世界最大の人材サービス会社	3.8%
3	ALLIANZ SE	ドイツ	保険	1890年創業、世界70ヶ国以上で生損保・銀行等の金融サービスを展開	3.8%
4	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	スイス	各種金融	世界最大級の金融総合グループの持株会社、1856年創業	3.6%
5	AKZO NOBEL	オランダ	素材	塗料・医薬品・化学品メーカー、化学塗料・高機能塗膜は世界トップクラス	3.6%

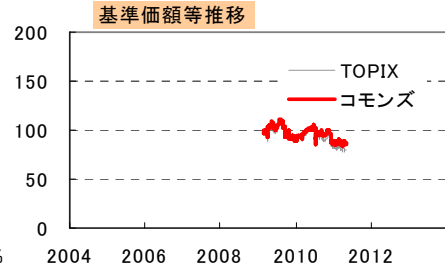
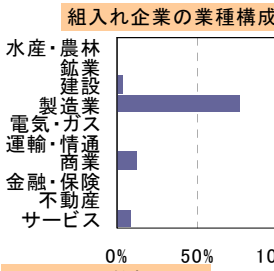
※ 構成比は、現物株式ポートフォリオに占める比率です。

世代をつなぐ厳選投資 『コモンズ30ファンド』



騰落率	1ヶ月	1年	3年	組入れ
	-0.1%	-13.2%	-	-13.5%

『見えない価値』を意識しながら企業との対話を重視して徹底したリサーチを行い、30年の長期的目線をもとに選別した30銘柄程度に集中投資。次世代以降へのつなぎを意識し、子どもたちに残してあげたい未来を企業とともに創造する、そういった熱い志に強く共感します。

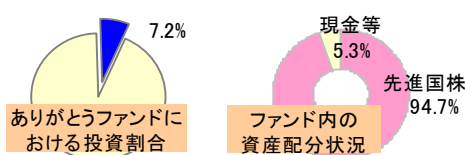


今月の5銘柄

銘柄	コード	コモンズの視点
ベネッセホールディングス	9783	「よく生きる」を支援し、世界一の教育企業を目指す
その他4銘柄		日産自動車(2011年12月) / エア・ウォーター(2011年11月) / リンナイ(2011年10月) / NEC(2011年9月)

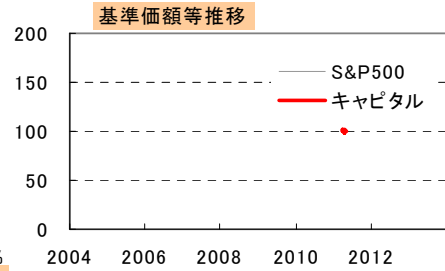
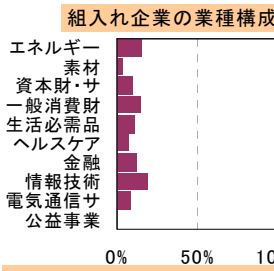
※ その他4銘柄のカッコ内は、ありがとうファンド月次レポートへのコメント掲載履歴です。

世界的な長期投資の老舗による運用 『キャピタル・インターナショナル・USグロースアンドインカム・ファンド』



騰落率	1ヶ月	1年	3年	組入れ
	+1.2%	-	-	+0.2%

豊富な実績に基づき、『グロースとインカム(企業の利益と配当の持続・成長)』に焦点を当てて運用。主たる投資対象は米国株式。米投信御三家の一つキャピタル社の旗艦ファンドであるICAと同じコンセプトで運用され、直販で資金の出入りがおだやかな弊社の長期運用とピッタリ共鳴しました。



株式組入上位5銘柄 (資産配分状況、業種構成、組入れ銘柄は2011/11/30現在)

順位	銘柄	国	業種	事業内容	組入比率
1	AT&T INC	アメリカ	電気通信サービス	アメリカ合衆国最大手の電話会社、インターネット接続サービスも提供	6.1%
2	MICROSOFT CORP	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータソフトウェア会社、ビル・ゲイツらによって設立	5.6%
3	PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	生活必需品	180ヶ国以上に展開する世界最大のタバコメーカー	5.3%
4	ROYAL DUTCH SHELL	イギリス	エネルギー	スーパーメジャーの1社、世界第2位の石油エネルギー企業	4.7%
5	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	金融	世界60カ国以上に拠点を持つ大手金融企業	3.8%

※ 上記比率は、純資産総額に対する比率です。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 (社)投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

## 運用会議NOW (NC・ヨーロッパ・ファンドSA編)

12月6日、ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSAの運用に携わるアルノー・コッセラ氏が、運用状況の報告のために弊社を訪ねて下さいました。

このファンドの主要テーマは、企業の持続的成長。企業や投資の話に限ったことではありませんが、成長の物語を聴くのはいつでも楽しいものです。売り上げが伸び続ける企業の持つ、多くの優れたアイデアについて伺いました。



### ファンドマネージャーの視点

今更言うまでもないことですが、ヨーロッパはユーロ危機問題に瀕して、企業の収益環境としては決して良いとは言えません。だからこそ、経済が順調ではない中で成長するには、強力なプライシング・パワーが必要です。

プライシング・パワーとは、十分な利益を確保できる価格で売れる商品力、と言ってよいでしょう。そのパワーの源泉は、まず市場自体が持続的に拡大していること。そしてその市場で確固たる地位を築いていることです。新興国では人々の生活水準が加速度的に上がっています。豊かになりつつある市場で売れる商品といえば、老舗ブランド。ヨーロッパ企業の得意分野です。また、日本では依然として馴染みの薄いアウトソーシング・サービスも、ヨーロッパでは大きな成長市場です。世界的な高齢化で市場の広がる医療関連でも、多くの強い企業があります。

今回の話では、ファンドには新たに8つの銘柄が加わったとのことですが、それら新顔の中に、とても興味深い企業がありました。Intertek という「品質管理サービス」を提供する英国企業です。ISO9001 とか、ISO14001 といった国際規格は多くの方が聞いたことぐらひはあると思いますが、国境を越えたビジネスを展開するうえで、このような品質基準を満たすことは、今や必須の条件です。新興国の発展と共に、国際的なビジネスの場への参加者は増える一方ですし、新たな市場の開拓も盛んです。参加するマーケットの品質規格に適合させる、というサービスへの需要は、これからも成長していくでしょう。

Intertek は、既に1000か所を超える研究施設を世界中に持つ、この市場のリーダー的な企業で、品質管理にかかわる総合的なサービスを、幅広い業界にわたって提供しているということです。市場の成長のみならず、M&Aにも熱心で高い成長性を保ち、新興国でも大きな売上を上げています。また企業規模の面からも、信用が重視されるビジネスの性格からしても、参加障壁が高いことが分かります。

市場の成長、高いシェア、強力なプライシング・パワー。マクロ経済面からは、まだまだ不安なユーロ圏ですが、Intertek のような企業のパフォーマンスには、今後も大いに期待できそうです。

ファンドマネージャー  
川元 由喜子



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 (社)投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は必ず目論見書の内容をご確認の上ご自身の判断でお申込ください。

## 《ありがとう投信からのお知らせ》

### ☆「取引残高報告書」 & 「特定口座年間取引報告書」送付のご案内

2011年12月末現在、「ありがとうファンド」の残高があるお客様には「取引残高報告書」、特定口座を開設されているお客様には「平成23年分特定口座年間取引報告書」(どちらも該当されるお客様には両方とも)を今月下旬にお送り致します。

特定口座年間取引報告書は、昨年中に特定口座内で換金されたありがとうファンドの譲渡の対価の額(収入金額)、取得費および譲渡に要した費用の額などを記載しており、該当する年間の譲渡損益等を集計した報告書です。本書類は確定申告の際に証明書類としてご利用いただけます。



### ☆毎月購入サービスのスケジュール

今後のスケジュールになります。各締切日に間に合わない場合、翌月の取り扱いとなりますのでご了承下さい。

	新規申込・口座変更	金額変更・中止	引落日	ファンド購入日 (約定日)
平成24年2月分	受付終了	1月25日(水)	2月6日(月)	2月16日(木)
平成24年3月分	2月3日(金)	2月23日(木)	3月6日(火)	3月16日(金)
平成24年4月分	3月5日(月)	3月27日(火)	4月6日(金)	4月18日(水)

### ～ありがとうファンドのリスク及び手数料等について～

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
申込手数料	ありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保金	ありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年0.945%(税抜0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年1.6%±0.3%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

目論見書のご請求はありがとう投信株式会社まで。〒110-0005 東京都台東区上野 3-19-4 TEL 03-5807-9710